

平成 26 年 10 月 2 日

報道関係各位

「2014 年度 グッドデザイン賞」トリプル受賞



- ◆MSストラクチャー（住宅・住空間向けの工法部門）
- ◆C値測定（住居に関するサービス・システム部門）
- ◆APボード（ビジネスモデル・ビジネスメソッド部門）

三交不動産株式会社（取締役社長 森口文生、本社：津市丸之内）の、木造軸組構造「MSストラクチャー」、品質管理「C値測定による施工品質向上」、オリジナル杉合板「APボードが作りだすこれからの山のすがた」の3点が、『グッドデザイン賞 2014』（主催：公益財団法人日本デザイン振興会、2014年10月1日（水）発表）において、グッドデザイン賞を受賞しましたのでお知らせいたします。その内、「MSストラクチャー」は『グッドデザイン・ベスト100』にも選出され、特別賞候補にノミネートされています。

なお、「MSストラクチャー」と「APボード」は宮川森林組合および株式会社エム・エス・ピーとの共同受賞であります。

1. MSストラクチャー（住宅・住空間向けの工法部門で受賞 BEST100 に選出）

■「MSストラクチャー」について

当社の木の家は創業以来、三重県大台町の木にこだわって建てられてきました。それは大台町に根差し、ともに歩んできた歴史です。未来を見据えて山を育てる宮川森林組合から良質な木を確保。大台町との第三セクターでプレカット工場を設立することで地元雇用を生み出し、また加工まで責任をもって品質を確保できるようになりました。これらを含め、他の取組とあわせて地域密着の姿勢が非常に高い評価をいただき、グッドデザイン賞「BEST100」に選出されました。



写真：MSストラクチャー



写真上：株式会社エム・エス・ピー（第三セクタープレカット工場）
写真右：宮川森林組合による山の適正化（植林と地域性苗木の栽培）

■ 「MSストラクチャー」の受賞評価コメント

- ・ 地場の林産業、木材産業、木材加工業から伝統工法を用いる住宅提供までをひとつのサイクルにまとめた総合的な木造住宅供給モデルとして、高く評価できる。
- ・ 派生する端材や下等級材の二次利用などを含めた大きな構想に期待感がある。

2. C値測定（住居に関するサービス・システム部門で受賞）

■ 「C値測定」について

C値は住宅の隙間係数を表し、気密性能を測る非常に重要な値です。多くの場合、都度実施されることは珍しく、基準すら設定されていないケースも増えています。しかし、当社は建築を請け負った全ての住宅でC値測定を実施。さらに自社基準に達しない場合は再施工する、という厳しいハードルを自らに課しています。これによって建築現場に携わる職人や技術者間の競争意識が高められ、常に高い水準の気密品質を実現。いまでは北海道や東北でも通用するレベルの気密性能を確保し、一年中心地よすまいを提供しています。



写真上：C値測定風景
写真右：建築工程

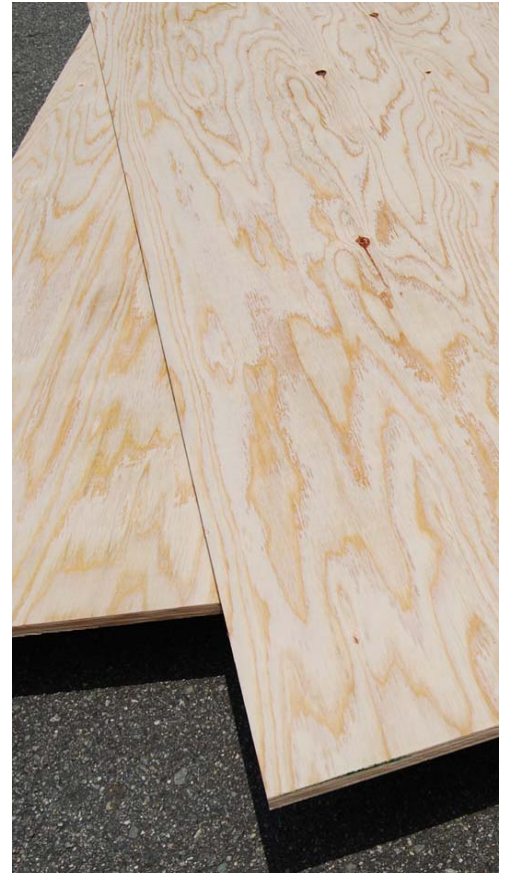
■「C値測定」の受賞コメント

- ・省エネに直結する住宅性能指標としてC値を重視し、その向上のために施工精度を高めるPDCAサイクルをまわしている点が高く評価できる。
- ・今後はC値の重要性が広く認識され、他社にもこの取り組みが拡大していくことを期待する。

3. APボード（ビジネスモデル・ビジネスメソッド部門で受賞）

■「APボード」について

住宅の建築材料に使われるスギやヒノキは、同じ山にあっても場所によって健康に育つ木とそうでない木に分かれます。建築用材として角材加工した後に一定の基準を満たさない場合、それらは下地材等のほか、チップや燃料として採算性の低い価格で取引され、結果、荒れ山をつくる原因のひとつになっていました。そこで当社らは育成不適地で育った木の価値向上を目指し、宮川森林組合と京都府立大学大学院の研究データに基づき、立木や丸太の時点で角材に向くものと向かないものを予測し、角材に向かないものを利用した構造用合板（APボード）を商品化しました。他の構造材と合わせて利用することで多くの資金を山に還元しています。



■「APボード」の受賞コメント

- ・研究データに基づく実行プログラムと経済的好循環の実現、さらに本来の山の姿を復元することによる新たな森林経済の創世活動として高く評価した。

「グッドデザイン賞」とは

グッドデザイン賞は1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで55年にわたってデザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、延べ受賞件数は40,000件以上にのぼり、今日では国内外の多くの企業や団体などが参加しています。グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。



○お問い合わせ先

三交不動産株式会社 戸建事業本部 商品開発部 TEL：(059)228-4116 担当：大久保・藤原

○資料配付先

名古屋経済記者クラブ、三重県政記者クラブ